「 地域課題解決型事業　外堀川クリーン作戦について 」

2013年から行ってきた活動ですが、2018年になると、「連合自治会長」と「元市議」の2名らが推進し、仮称「外堀川三左衛門堀を美しくする会」を設立した。その目的は、当法人の活動を「潰す」ためであることがわかった。当法人の活動が地域や行政からの賛同や応援が高まり、課題解決に向かう傾向が強まる中、嫉妬や妬みによるも、権限や主導権に執着することなどの、私利私欲による不純な動機によるものである。

これはとても浅くつまらない事で、地方自治体にとっては大きな損失を与える行為でもあります。また、地域の方々や地道に活動を行ってきた方々を踏みにじり、自治会長や市議の権限を悪用した卑劣な行為でもあります。それらがまかり通ることに、多くの怒りの声が上がりました。その声は参加者、数百人の有志からとなります。また活動を知る人は、その地道な姿から、兵庫県内外を問わず、数千人から万にも及ぶものとなってきました。「負けずに頑張りよ」、「頑張って継続してね」の声を多く頂いていますが、現場（参加）での方は「もう知ったことか」「会長と元市議でやればいい」「すべきことはした」と逆鱗に触れ、活動中止となりました。

行政はその目論見を知らなかったとはいえ、大半の方々からは、大きな不信感が残ると共に、外堀川改善に対しての取り組む動機や思いなどは、無に等しい状況となっています。

これらに対し、再び市民の活力や大義を奮い立たす為には、何らかの意思表示や要望が必要かと考えています。それ故、以下の事項について、ご協力を頂ければと思います。

各課や各部署から、外堀川活動に対しての、「推進、賛同、応援、支持」などを書面にしたもの。例えば、「皆様方へまたは当法人様へ」「日頃の課題解決に向けた活動を心強く思うと共に応援している」、「期待している」、「協働していく」など。「姫路市〇〇課　課長または一同」。

私としては、これらの関係部署の声をもとに、必要とされ期待されている趣旨を述べ、より多くの地域の方々や、個人・団体・企業からの参加を頂き、再編していきたいと思います。それを基に、行政の取り組みや仕組みを掛け合わせ、課題解決になればと考えています。

2018年 1月 23日

NPO法人 アンビシャス コーポレーション

理事長　山本 哲司

「 会員・サポーター・ボランティア・地域の皆様へ 」

活動の中の一つ、「外堀川クリーン作戦」まちづくりコミュニティ清掃（地域課題解決型事業）は、終了(撤退)することとなりました。長年による皆様方の、心強いご協力、理解ある賛同、心温まる応援を頂き、心より感謝とお礼を申し上げます。

終了に至る経緯は、県と市と自治会による、仮称「外堀川三左衛門堀を美しくする会」の設立に伴い、その設立団体が、地域課題解決に取り組む為、当法人の担ってきた役割が果たせたとの結論に至りました。

実際は、「連合自治会長」と「市議」の2名の私利私欲による、不純な動機によるものでした。
当法人の活動が、地域や行政からの賛同や応援が高まり、課題解決に向けた傾向が強まる中、嫉妬や妬みが生まれると共に、権限や主導権を得る為だけのもので、それらのことから、
「当法人を潰せ」という目的のための手段として、取り組みが進められたものでした。
両名は、当法人に対して、「勝手にやっている団体だ」「助成金目当てだ」「外堀川を独占したいだけだ」等々の事実無根な声を発信しており、とても浅くつまらない事で、地域に大きな損失をもたらすだけなのは言うまでもありません。
また、地道に活動を行ってきた多くの方々を踏みにじる行為でもあり、地域住民に対して、権限を悪用した卑劣な行為でもあります。それらが正義としてまかり通ることに、無念が残りますが、
行政と協議の上、「外堀川クリーン作戦」は今後中止とし、今後その動向を見守ることとしました。

私共の力不足により、地域の皆様や応援くださる皆様の思いを実現できず、申し訳ないです。
今後、また課題に切り込まなければいけない事態があれば、率先していきますので、
その時は、またご協力やご賛同を求め、ご無理をお願いすることかと思います。
2013年より現在に至るまで、本当にありがとうございました。

2018年 3月 8日

NPO法人 アンビシャス コーポレーション